

# 令和6年度 小麦生育状況 No. 6

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 水田利用研究室  
 (生産基盤研究部：TEL0197-68-4412、FAX0197-71-1081)

## I 農業研究センター本部（北上、調査日：4月22日）

### 1 気象経過

4月の気温は、平年より高く経過した。降水量は、4月第2半旬で平年を上回ったが、第3半旬以降は平年より少なく経過した（図1）。

### 2 生育概況

減数分裂期は、「ゆきちから」・「ナンブキラリ」で4月24日、「ナンブコムギ」で4月23日であり、平年より7～8日早まった（表1）。

「ゆきちから」・「ナンブコムギ」の生育は、平年と比較し、草丈は長く、㎡当たり茎数は少なくなった。「ナンブキラリ」の生育は、「ナンブコムギ」と比べて草丈は同程度、㎡当たり茎数は多くなった。幼穂の生育は、「ゆきちから」・「ナンブコムギ」・「ナンブキラリ」とも穎花分化後期（X期）以降の発育ステージであり、幼穂長は25～35mm程度であった（表2）。

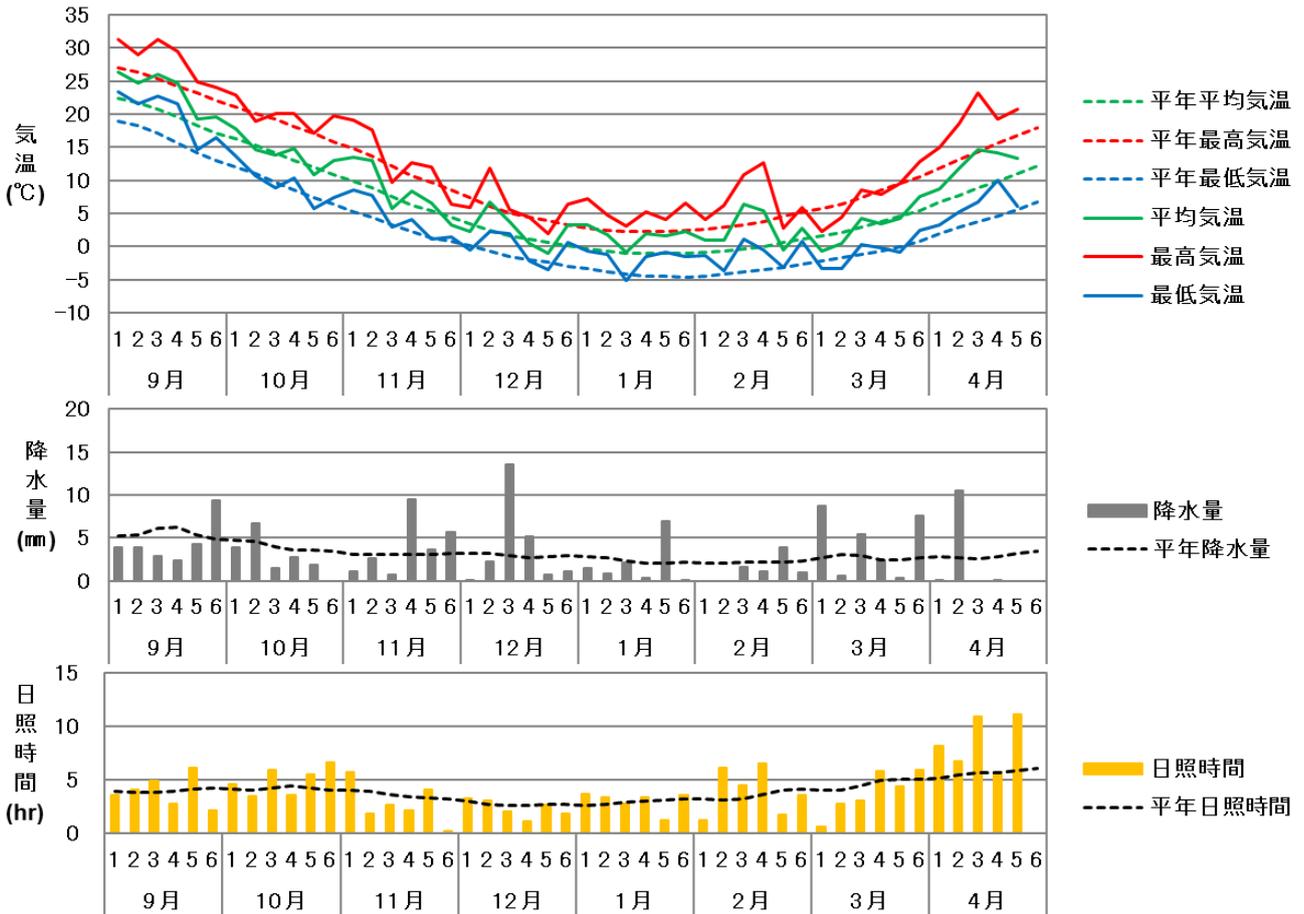


図1 令和5年播種小麦の生育期間中の半旬別気象経過図（北上アメダス）

表1 生育ステージ等

品種	播種年次	播種日 (月/日)	幼穂形成期 (月/日)	減数分裂期 (月/日)	出穂期 (月/日)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)
ゆきちから	5年	10/4	4/2	4/24			
	平年	10/5	4/6	5/1	5/10	5/19	6/28
	差・比	-1	-4	-7			
	(参考)4年	10/5	3/27	4/24	5/5	5/16	6/22
ナンブコムギ	5年	10/4	4/2	4/23			
	平年	10/5	4/6	5/1	5/10	5/18	6/27
	差・比	-1	-4	-8			
	(参考)4年	10/5	3/27	4/24	5/4	5/15	6/21
ナンブキラリ	5年	10/4	4/3	4/24			
	平年	-	-	-	-	-	-
	差・比	-	-	-	-	-	-

※平年値は、平成28年、30年、令和元年～3年播種の5か年平均を用いた

※減数分裂期は、止葉の葉耳が抽出(±0cm)の時期

表2 生育状況(令和6年4月22日調査)

品種	播種年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	幼穂 発育ステージ	幼穂長 (mm)
ゆきちから	5年	46.3	573	X期以降	25.5
	平年値	33.6	769	-	12.5
	差・比	12.7	74%	-	13.0
	(参考)4年	49.8	760	-	30.4
ナンブコムギ	5年	55.6	523	X期以降	34.1
	平年値	37.4	638	-	11.7
	差・比	18.2	82%	-	22.4
	(参考)4年	58.1	568	-	26.8
ナンブキラリ	5年	53.0	621	X期以降	26.6
	平年値	-	-	-	-
	差・比	-	-	-	-

※平年値は、平成30年、令和元年～4年播種の5か年平均を用いた。

※幼穂発育ステージは、「コムギ・オオムギの発育調査基準の再整理(2022)」より推定。X期は「穎花分化後期」

※幼穂長は、令和5年は8株/品種の幼穂を調査。

表3 耕種概要

品種	ゆきちから	ナンブコムギ、ナンブキラリ
栽培様式	密条播(条間30cm)、転換1年目(前作水稲)	
播種量(kg/10a)	7.0(手播き)	7.0(手播き)
堆肥・緑肥(kg/10a)	牛糞堆肥1,000	
施肥量(kg/10a)	基肥 窒素:6.0 リン酸:8.5 カリ:8.5	
	追肥 窒素:4.0~2.0	
雑草・病害虫防除	雪腐病(種子消毒) ベフラン液剤25:原液	
	縞萎縮病(播種前) フロンサイドSC:600mL※(10月3日)	
	除草剤(播種後) ガレスG:5kg(10月7日)	
	雪腐病(根雪前) フロンサイドSC:100mL※(12月4日)	
	除草剤(秋) エコパートフロアブル:100mL※(11月15日)	
除草剤(春) ハーモニーDF:4g※(4月4日)		

※100Lの水で希釈し10aに散布



写真1「ゆきちから」のほ場の様子 (4/22 撮影)



写真2「ゆきちから」の幼穂



写真3「ナンブコムギ」のほ場の様子 (4/22 撮影)



写真4「ナンブコムギ」の幼穂



写真5「ナンブキラリ」のほ場の様子 (4/22 撮影)



写真6「ナンブキラリ」の幼穂